



1月中旬に、あさま広場で凧揚げをしました。その日は、手を離すと凧が飛んで行ってしまいう程の強風が吹いていたのですが、子ども達は自分で作った凧が飛ばされないように、手をグーにしてしっかり糸を持っていました。「こうやって持つんだよ」と教え合っている姿がとても可愛らしかったです。

2歳児さんは、お友達同士で「揚がった!」「楽しい」と言いながら広場を走り続ける子や、立ったまま腕を挙げ、風になびく凧を見つめ続ける子もいて、それぞれ自分の好きな遊びを楽しんでいました。

1歳児さんは、最初どうすればいいのか分からない様子でしたが、2歳児さんが走っている姿を見て走り出し、凧が揚がると満面の笑みを見せていました。

暫くすると2歳児さんが1歳児さんに「手を挙げて走るといいよ」と1歳児さんの手を取り、教えるに微笑ましい姿も見られました。また糸を持っている手を離し、凧が風で飛ばされる様子や、飛ばされた凧を追い掛けて楽しむ子もいました。

最後は飛ばされた凧が強風に煽られ、園庭の木に引っ掛かり「すごいね!」「風が強いね」と皆で盛り上がり、笑顔で園に帰りました。



早いもので3月に入り、今のクラスで過ごすのも、いよいよ残り1ヶ月を切りました。

振り返ると1年前、まだまだ赤ちゃんらしさが残る1歳児さん。園庭では、ずっと私達と手を繋いで歩いている子や、砂場等で遊んでいても、私達が近くにいない事に気付くと探し始め、後を追いかけて来る等、いつも私達と一緒に行動していました。

今年に入ると1歳児さんは、身振りや簡単な言葉で、自分の思いを伝えるようになり、私達と一緒に歌をうたう子もいます。園庭では、子ども達同士で声を掛け、触れ合う事も楽しんでいます。また、2歳児さんの真似をして、フラフープを使ってジャンプをしたり、砂場の周りを走ったり活発に動き回るようになってきています。

2歳児さんは4月頃、身支度を全て一人で言う事は難しく、声を掛けながら一緒に行っていました。また園庭では、友達の遊びが気になるものの、声を掛ける事が出来ず、一人で遊ぶ姿が多く見られました。私達が気持ちを代弁したり、一緒に遊ぶ等、友達同士で関わる楽しさを伝えられるようにしていました。

今では、身支度において「分からなかったら聞いてね」と私達も見守る事が多くなり、時間が掛かっても自分でやり遂げられるようになってきています。園庭では、友達同士のやりとりが増え、三輪車を消防車やパトカーに見立てて遊んでいます。また、砂場で料理やお菓子を作ったり、工事現場ごっこを楽しんでいます。

今こうして成長した子ども達を見ると、とても感慨深いものを感じます。普段何気ない子ども達の姿や、やりとりに癒され、沢山の笑顔をもらった1年間でした。

保護者の皆様も温かく見守って頂きありがとうございました。残り少ない子ども達との日々を大切に過ごしていきたいと思います。

ひよこ2組担任一同

